愛媛県立松山中央高等学校　図書委員会　　令和3年8月 24日発行

図書館だより　8･9月号

暦の上では秋ですが、まだまだ厳しい暑さが続いています。今年の夏休みはどうでしたか？夏休み前に図書室の本を借りてくれた人もたくさんいました。きっとこの夏休みに心に残る本との出会いがあったことと思います。これからもいろいろな本を読んで、自分の世界を広げていってくださいね。

9月は運動会、中央祭と行事が続きます。忙しくなりますが、いろいろなことに積極的に挑戦して、高校時代のすばらしい思い出を作ってください。今年もコロナによる制約があるかもしれませんが、みんなで知恵を出し合い、協力していきましょう！

秋のミステリー特集

カウンター前に展示しています！

学園ミステリー、トラベルミステリー、恋愛ミステリー、ホラーミステリー ……
本格ミステリーから気軽に読めるライトミステリーまで、各種あります。
魅力的な探偵、巧妙なトリック、どんでん返し etc　お気に入りの本を見つけよう！

『青空の卵』『仔羊の巣』
『動物園の鳥』
坂木　司

『むかし僕が死んだ家』
『マスカレードナイト』
東野　圭吾

『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』
太田　紫織

『文豪カレーの謎解きレシピ』
柳瀬　みちる

『氷菓』
『本と鍵の季節』
『満願』
米澤　穂信

☆本の表紙は著作権の関係上、掲載しておりません。

新着図書

家庭科からおすすめの本！

『面白南極料理人』
『パンとスープとネコ日和』
『食堂かたつむり』

西村　淳
『面白南極料理人』
群　ようこ
『パンとスープとネコ日和』
小川　糸
『食堂かたつむり』

食べたくなります！

『小説8050』
林　真理子　『小説 8050』
ひきこもりの子どもを抱えた親が年老いたとき、どうなるのか？
社会的問題「8050 問題」を描いた小説。

『琥珀の夏』
辻村　深月　『琥珀の夏』
大人になる途中で、私たちが取りこぼし、
忘れてしまったものは、どうなるのだろう――。
封じられた時間のなかに取り残されたあの子は
どこへ行ってしまったのだろう。

『ナースたちの現場レポート』
日本看護協会出版会編集部　『ナースたちの現場レポート』
2020 年 1 月の中国･武漢への自衛隊の災害派遣から、第 3 波が来る 12 月までの約 1 年間にわたる、医療･ケア現場の様子と日々の暮らしを綴ったレポート。看護職であり生活者でもある 1 人の「人」としての姿を垣間見ることができます。

推し本！

図書館前のホワイトボードを見てください！

『他者の靴を履く』

『僕はイエローで、ホワイトで、ちょっとブルー』

図書委員会より

図書委員会では中央祭でビブリオバトルを計画しています。詳しい内容は後日連絡します。
みなさんの参加をお待ちしています！